

# 心理検査法実習Ⅱ

専門教育科目／1単位／S授業

担当教員 田中 陽子

■使用テキスト \* 担当教員によるレジュメ等

◆参考テキスト 講義内で紹介

## 講義概要・一般目標

心理検査法実習Ⅱでは、知能検査と性格検査の投影法についての実習を行う。各検査ごとに、その検査の成り立ちを学び、実際に心理検査を実施することで、実施方法を習得する。また、その結果を使い、基本的な分析・解釈の方法、臨床心理学的報告書の書き方を習得する。

性格検査の投影法を実施する際には、受講者がお互いに検査者・被検査者となり、自分の結果について主に自己分析を行う。また、基本的な分析・解釈を行う際には、検査結果（自分の描いた絵など）について、グループで話し合うこともあるので、そのつもりでいること。

## 到達目標

- 1) 知能検査とは何かを理解し、その概要を説明できる。
- 2) 性格検査の投影法とは何かを理解し、その概要を説明できる。
- 3) いくつかの心理検査について、実施方法について理解し、説明ができる。
- 4) いくつかの心理検査について、基本的な分析方法について理解し、説明ができる。
- 5) 自己分析や事例などを通して、臨床心理学的報告書の書き方を習得する。
- 6) 心理検査の結果の活かし方を学ぶ。

## 評価方法

出席状況（遅刻・欠席は不可）、実習態度、科目単位認定試験（スクーリング最終日に実施）によって総括的評価を行う。また、それぞれ実習した心理検査ごとにレポートを課す。